

『感謝の気持ちを持って』 内野 加穂 (釈迦堂)

現在、私は県外の大学の歯学部にて在籍しています。最近では学外実習が始まり、週に一度歯科医院で実習をしています。毎回新たな発見があり回を重ねる毎に見方、考え方が変わっていくのを実感しています。学業以外でも学ぶことは多くあります。親元を離れての一人暮らしで、今まで気付かなかった自分の甘さや家族の有り難みを感じます。サークル活動では中学時代経験したバスケットボールを楽しみながら、先輩や他校の人と関わり、いろいろな話を聞かせてもらっています。またアルバイトでは挨拶や礼儀など社会人として身に付けておくべき多くのことを学んでいます。

この様な大学生活の中で私が大切にしていきたいと考えるのは、人との関わりです。新しい環境で困った時、何か新しいことを学ぼうとした時、私はいつも誰かの助けを借りながら乗り越えてきました。これは中学生の時も同じでした。私は中学入学時に富合町に引っ越してきました。最初は不安でいっぱいでしたが、富合のみんなは私をあたたかく迎えてくれ、おかげで大変楽しく充実した中学校生活を送ることが出来ました。

これからは成人として、自分自身で責任を持ち、自立した生活を送っていかねばなりません。いつも周りに、支えてくれる友人、先生、地域の方々、そして家族がいることを忘れず、常に感謝の気持ちを持って日々を送っていこうと思います。



『大学生活・野球部活動で思うこと』 倉橋 法志 (木原)

私は現在大学で社会の仕組みや経済について学んでいます。将来の仕事に役立てていきたいと考えています。部活動では野球部に所属し、日々練習に励んでいます。大学の野球は「人からやらされる」のではなく、「自分からやる」ことがとても大切です。自分で考え練習することは、その練習の意味を理解することで効率がよくなります。また練習する中で、私が大事だと思うことは、その日の出来に一喜一憂するのではなく、反省をして、何が自分に足りなかったのか、これからどうすれば改善されるかを考え、実行していくことです。今出来ないことは、これから出来るようになる可能性があると言うことです。困難に立ち向かった時、それが必ず乗り越えられると保証されているわけではありません。しかし、自分で考え努力すればその困難を乗り越える可能性は広がると思います。これから私達は成人として、人と協調し、大人の自覚を持ち、責任ある行動をとらねばなりません。自動車運転は大きな責任が伴います。飲酒や喫煙など20歳になって制限が取れるものもあります。こうした中で私が大事だと思うことは自制心だと思います。常に自分を冷静に見ることと、自分を抑えることが出来れば羽目を外しすぎることや、無責任な行動はなくなると思います。また緊急事態になった時に、正しい行動が出来ることも重要です。予期せぬ事態が起きた時に自分の判断で、迅速に最善の行動がとれれば立派な社会人と言うことが出来るのではないのでしょうか。

これから先、自分の思い通りにいくことよりも、思い通りにならないことの方がはるかに多いと思います。自分の現状を受け止めた上で、前に進む強さがあれば、これから困難にぶつかっても、きっと乗り越えて行くことが出来ると私は信じています。私達が育った富合町をいつまでも大切にしていきたいです。

式典・茶話会は新成人が企画

地元の新成人を中心に準備。各地に住む人達への連絡、式典での担当等を決定。

茶話会には恩師の先生方も出席。なつかしい笑顔がいっぱいの成人式になったようです。



ピアノ演奏
荒木美帆さん(大町)



司会 山本誠世さん(南田尻)